



さかとく進路だより



高等部 第1期現場実習・校内実習について



高等部では、卒業後の進路決定に向けた取り組みとして、第1期現場実習・校内実習を6月3日(月)～14日(金)の10日間実施しました。現場・校内実習を経験する中で、日を追うごとに生徒たちの表情や態度の変化や成長が見られました。報告会では、自分と向き合い、成果や課題、今後取り組むことについて、事後学習での振り返りをしっかり発表することができていました。以下は、生徒から多く挙げられていたものです。

挨拶、返事、報告、時間を守る、相談をする、気持ちの切り替え、積極的に取り組む、集中して取り組む、休まない、体調管理など

働くためにはとても大切なことです。「継続は力なり」ということわざもありますが、コツコツと努力を続けていけば、いつか必ず目標は達成できます。なりたい自分になるため、小学部生も中学部生も高等部生も、日々の生活の中で目標をもち、達成に向けて努力を続けていきましょう。

<第1期現場実習から感じたこと…>

高等部卒業後の進路先は、生徒の実態に応じて大きく2つ<福祉的就労(福祉施設で働く)>と<一般就労(企業で働く)>になります。進路決定に向けての取り組みとして、高等部2年生の1月(第3期)から現場実習を実施し、高等部3年生の第2期現場実習(10月)で卒業後の進路先決定を目指します。

【福祉的就労(福祉施設で働く)】

少しずつ新しい福祉施設も増えてきていますが、福祉施設によっては、以下のような理由で希望しても受け入れが困難な場合もあります。「定員を満たしている、もうすぐ定員いっぱいになりそう」「飛び出し、他害があるため、周りの利用者さんへの影響が大きい」といったケースもありました。一方で「元気な挨拶で、雰囲気明るくなる」「休まず元気に来てくれる」「返事、報告がよくできる」等の嬉しい言葉もいただいています。得られた成果は今後も継続し、課題については改善していけるよう、本人、保護者、学校で協力しながら支援していければと思います。

【一般就労(企業で働く)】

生徒の実態(力)を総合的にとらえ、毎日自分で通勤できるか、企業のニーズ(作業内容、勤務時間、求めている人材など)と本人の実態が合っているか、従業員の方と仕事上のコミュニケーション(報告・連絡・相談・返事など)を図れるか、長く働き続けられるかなど、様々なことをふまえながら実習を行います。実習しても企業のニーズと本人の実態がマッチしなければ就労は難しくなります。また、企業の状況の変化(景気や人事の動向の影響)により雇用につながらない場合もありますので、福祉施設の情報収集も同時進行で進めておく必要があります。

小学部、中学部の保護者の方は、まだまだ先の話かと思われるかもしれませんが、「あつという間」というのが高等部の保護者の方からの感想です。早い段階から少しずつ福祉施設の情報収集や気になる施設には連絡をして、親子で見学されることをお勧めします。今年度も「福祉施設ガイドブック」を配付する予定ですので、参考にしていいただければと思います。



進路情報コーナー

学校にご案内いただいた新規サービスや情報をご紹介します。
パンフレット等は高等部棟1階の進路コーナーにあります。

- 事業所名：就労継続支援B型事業所 リハスワーク古河
- 住所：古河市本町1丁目1番15号 古河駅ビル「VAL」3階301号
- 電話番号：0280-33-8292 (FAX: 0280-33-8293)
- 作業内容：ひのきチップの作成、はがき・しおりの作成、公共機関の清掃、チラシの封入など
- その他：作業療法士による専門的な支援と企業経験のある職業指導員による支援を実施